

木更津市史編さん部会調査等進捗報告

部 会 名	考古部会	部会長名	加藤修司
-------	------	------	------

令和４年　１月から 令和４年１２月までの 実施内容・進捗状況	総　説 章立て、目次、凡例等の原案及び全体遺跡地図等完成。 デジタル編集まで 43 ページ完了。 １　旧石器時代 掲載予定約 18 遺跡、石器等再実測実施中。 ２　縄文時代 掲載予定約 46 遺跡、花山遺跡執筆完了、伊豆山台遺跡の黒曜石分析準備中。 ３　弥生時代 掲載予定 48 遺跡、デジタル編集まで完了 46 遺跡、進捗率 96%。 269 ページ執筆完了。カラー化作業が残。 ４　古墳時代 (１) 重要古墳 金鈴塚古墳の掲載方法について上野委員と検討予定。執筆担当者の変更についても再検討中。 (２) その他の古墳及び集落遺跡 掲載予定 110 遺跡、デジタル編集まで完了 60 遺跡　進捗率 55% 763 ページ執筆完了。カラー化作業継続中 ５　奈良・平安時代 掲載予定 57 遺跡（苗見作遺跡追加）、デジタル編集まで完了 54 遺跡、進捗率 95%、372 ページ執筆完了。カラー化作業継続中。 ６　古代人骨 諏訪谷横穴墓中世人骨の鑑定結果をまとめ、市史研究に原稿を提出した。 ７　中近世 小高委員と本間委員との共同作業、板碑・石塔の調査石造物についてはコロナ禍等により中断中。掲載対象遺跡は木更津市周辺を含め 65 遺跡・地点予定。資料調査、現地踏査を先行して実施、約 60% 程度完了。 ８　石造物 板碑・石塔の調査中断中。 ９　墨書土器等文字資料 15 遺跡 40 点について集成、デジタル編集まで完了。 具体的な進捗状況は別添資料１のとおり
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	(１) 縄文時代の執筆が進まず、危惧している。 (２) 資料のカラー化作業は別添資料２のと通りの作業力量が必要となっている。

令和 5 年 1 ～ 3 月及び 令和 5 年度の活動計画	1 カラー化作業については令和 5 年 1 月～ 3 月において、3 人の委員で月 1 回のペースで継続している。今後、どの程度まで実施できるのか、予算面も含め事務局とも協議しながら進めていきたい。 2 刊行について（部会長私案・未定） ① 旧石器・縄文時代編（約 200～300 頁） ② 弥生時代・古墳時代編（約 1200～1400 頁） ③ 奈良・平安時代・中近世・石造物・人骨編（約 500～600 頁）と 3 分冊とし、②③を先行して 2026 年度末（令和 8 年度末）刊行を検討している。（①は 2027 年度予定） この私案を部会で検討し、各担当と連絡を密にして執筆を促す予定である。 3 （紙冊子や DVD での刊行を前提としていたため） adobe InDesign でのフルデジタル編集を今後も続ける予定である。このためデジタルアーカイブでの掲載においても左綴じの見開きレイアウトとなる。 最も重要なことは、「資料検索」機能をシステムとして必ず導入することである。どのような仕様が可能なのか、事務局から専門業者に事前に確認をとっていただきたい。
--	---

旧石器時代

○＝デジタル編集まで完了（カラー化を除く）

△＝執筆中・編集中・資料調査中

No.	市史 遺跡 番号	遺跡名（よみがな）		県遺跡 番号	水系	進捗
1		林遺跡	はやしいせき	308	小櫃川	△
2		根岸小妻遺跡	ねぎしこづまいせき	338	小櫃川	△
3		宮脇遺跡	みやわきいせき	415	小櫃川	△
4		藪台（Ⅲ）遺跡	やぶだいさんいせき	394	小櫃川	△
5		大山台遺跡	おおさんだいいせき	129	矢那川	△
6		小谷遺跡	こやついせき	70	矢那川	△
7		金二矢台遺跡	かなふたやだいいせき	455	矢那川	△
8		天神前遺跡	てんじんまえいせき	163	矢那川	△
9		蓮華寺遺跡	れんげじいせき	169	矢那川	△
10		花山遺跡	はなやまいせき	181	矢那川	△
11		野洞遺跡	のぼりいせき	233	矢那川	△
12		下野洞遺跡	しものぼりいせき	236	矢那川	△
13		玉ノ谷遺跡	たまのやついせき	未登録	矢那川	△
14		二重山遺跡	ふたえやまいせき	272	矢那川	△
15		マミヤク遺跡	まみやくいせき	4	烏田川	△
16		中越遺跡	なかごしいせき	79	烏田川	△
17		山神遺跡	やまかみいせき	80	烏田川	△
18		堀ノ内台遺跡（2）	ほりのうちだいいせき	74	烏田川	△

縄文時代

No.	市史 遺跡 番号	遺跡名（よみがな）		県遺跡 番号	水系	進捗
1	20	祇園貝塚	ぎおんかいづか	419	小櫃川	
2	31	中台A遺跡	なかだいえーいせき	213	小櫃川	
3	33	中台B遺跡	なかだいびーいせき	214	小櫃川	
4	43	久野遺跡	くのいせき	435	小櫃川	
5	44	林遺跡	はやしいせき	308	小櫃川	
6	45	根岸小妻遺跡	ねぎしこづまいせき	338	小櫃川	
7	48	赤坂台遺跡	あかさかだいいせき	434	小櫃川	
8	54	土器崎遺跡	どきさきいせき	355	小櫃川	
9	62	丹過遺跡	たんかいせき	412	小櫃川	
10	72	藪台遺跡	やぶだいいせき	394	小櫃川	
11	79	千束台遺跡	せんそくだいいせき	47	矢那川	
12	84	大山台遺跡	おおさんだいいせき	129	矢那川	
13	94	庚申塚A遺跡	こうしんづかえーいせき	115	矢那川	
14	95	庚申塚B遺跡	こうしんづかびーいせき	121	矢那川	
15	103	銭賦遺跡	ぜにくぼりいせき	450	矢那川	
16	104	大畑台遺跡	おおはだいいせき	64	矢那川	
17	105	小谷遺跡	こやついせき	70	矢那川	
18	106	金二矢台遺跡	かなふたやだいいせき	455	矢那川	
19	108	大門口遺跡	だいもんぐちいせき	161	矢那川	
20	121	峰ノ台貝塚	みねのだいかいづか	148	矢那川	
21	123	天神前遺跡	てんじんまえいせき	163	矢那川	
22	124	蓮華寺遺跡	れんげじいせき	169	矢那川	
23	126	伊豆山台遺跡	いずやまだいいせき	179	矢那川	△
24	128	花山遺跡	はなやまいせき	181	矢那川	○
25	129	野洞遺跡	のぼりいせき	233	矢那川	
26	130	下野洞遺跡	しも のぼりいせき	236	矢那川	
27	132	蔵坪遺跡	くらつぼいせき	238	矢那川	
28	132	玉ノ谷遺跡	たまのやついせき	未登録	矢那川	
29	133	新開遺跡	しんかいいせき	250	矢那川	
30	134	伊豆島貝塚	いずしまかいづか	247	矢那川	
31	135	田高台遺跡	ただかだいいせき	258	矢那川	
32	139	上ノ山A・B遺跡	かみのやまえーびーいせき	466	矢那川	
33	142	下根田A遺跡	しもねだえーいせき	463	矢那川	
34	143	下根田B遺跡	しもねだびーいせき	464	矢那川	
35	144	御所塚遺跡	ごしょづかいせき	282	矢那川	
36	146	上時田遺跡	かみときたいせき	468	矢那川	
37	147	苗見作遺跡	なえみさくいせき	303	矢那川	
38	148	台木A遺跡	だいぎえーいせき	448	矢那川	
39	149	台木B遺跡	だいぎびーいせき	459	矢那川	
40	150	兎谷遺跡	うさぎやついせき	465	矢那川	
41	152	西谷遺跡	にしやついせき	65	烏田川	
42	159	マミヤク遺跡	まみやくいせき	4	烏田川	
43	166	中越遺跡	なかごしいせき	79	烏田川	
44	169	葎ヶ作貝塚	よしさがくかいづか	82	烏田川	
45	171	堀ノ内台遺跡	ほりのうちだいいせき	74	烏田川	
46	173	南羽鳥遺跡	みなみはどりいせき	未登録	烏田川	

弥生時代

ファイル名	No.	市史遺跡番号	遺跡名（よみがな）		県遺跡番号	水系	保管	進捗	頁
弥生時代 1	1	4	水深遺跡	みずぶかいせき	439	小櫃川	県	○	3
	2	5	松山遺跡	まつやまいせき	442	小櫃川	市	○	4
	3	6	高砂遺跡	たかさごいせき	443	小櫃川	市	○	11
	4	7	本郷1丁目遺跡	ほんごういつちようめいせき	未登録	小櫃川	市	○	6
	5	8	四宝塚遺跡	よたまづかいせき	25	小櫃川	県	○	4
	6	21	清水谷遺跡	しみずやついせき	418	小櫃川	市	○	3
	7	23	井尻遺跡	いじりいせき	89	小櫃川	市	○	10
	8	25	菅生遺跡	すごういせき	96	小櫃川	市	○	15
	9	26	祝崎古墳群下層	いわいさきこふんぐんした	99	小櫃川	県	○	2
	10	27	高千穂古墳群下	たかちほこふんぐんした	98	小櫃川	市	○	5
弥生時代 2	11	31	中台A遺跡	なかだいえーいせき	213	小櫃川	市	○	3
	12	33	中台B遺跡	なかだいびーいせき	214	小櫃川	市	○	4
	13	34	四留作遺跡（第一古墳群下）	しとめさくいせき	215	小櫃川	市	○	7
	14	42	芝野遺跡	しばのいせき	358	小櫃川	県	○	8
	15	44	林遺跡	はやしいせき	308	小櫃川	市	○	3
	16	45	根岸小妻遺跡	ねぎしこづまいせき	338	小櫃川	県	○	9
	17	47	山王台遺跡	さんのうだいいせき	436	小櫃川	市	○	8
	18	52	北谷遺跡（田川遺跡群）	きたやついせき	316	小櫃川	市	○	3
	19	57	西ノ根谷遺跡	にしねやついせき	325	小櫃川	市	○	2
	20	59	宮脇遺跡	みやわきいせき	415	小櫃川	市	○	4
	21	62	丹過遺跡	たんかいいせき	412	小櫃川	県	○	5
	22	64	内屋敷(1)(2)遺跡	うちやしきいせき	374	小櫃川	県	○	5
	23	74	代畑遺跡	だいばたけいせき	371	小櫃川	市	○	2
弥生時代 3	24	76	宮ノ下遺跡	みやのしたいせき	37	矢那川	市	○	1
	25	78	四房遺跡	しぼういせき	未登録	矢那川	市	○	3
	26	79	千束台遺跡	せんそくだいいいせき	47	矢那川	市		
	27	81	塚原遺跡（横嶺遺跡）	つかはらいせき	未登録	矢那川	市		
	28	84	大山台遺跡	おおさんだいいせき	129	矢那川	市	○	16
	29	89	中郷谷遺跡（本郷B遺跡）	なかごうさくいせき	未登録	矢那川	市	○	5
	30	90	鹿島塚A遺跡	かしまづかいせき	119	矢那川	市	○	5
	31	91	鹿島塚B遺跡	かしまづかびーいせき	120	矢那川	市	○	4
	32	94	庚申塚A遺跡	こうしんづかえーいせき	115	矢那川	市	○	4
	33	95	庚申塚B遺跡	こうしんづかびーいせき	121	矢那川	市	○	3
	34	96	野焼A遺跡	のやきえーいせき	124	矢那川	市	○	7
	35	97	野焼B遺跡	のやきびーいせき	124	矢那川	市	○	6
	36	100	山伏作遺跡	やまぶしさくいせき	未登録	矢那川	市	○	8
弥生時代 4	37	104	大畑台遺跡	おおはただいいせき	64	矢那川	市	○	9
	38	111	東谷遺跡	ひがしやついせき	460	矢那川	市	○	13
	39	114	永作遺跡	ながさくいせき	431	矢那川	市	○	8
	40	116	西ノ入遺跡	にしのにいりいせき	458	矢那川	市	○	9
	41	117	西ノ入B遺跡	にしのにりびーいせき	458	矢那川	市	○	6
	42	123	天神前遺跡	てんじんまえいせき	163	矢那川	市	○	4
	43	133	新開遺跡	しんかいいせき	250	矢那川	県	○	3
	44	154	鶴ヶ岡遺跡	つるがおかいせき	2	烏田川	市	○	5
	45	157	俵ヶ谷遺跡	たわらがやついせき	3	烏田川	市	○	5
	46	159	マミヤク遺跡	まみやくいせき	4	烏田川	市	○	12
	47	166	中越遺跡	なかごしいせき	79	烏田川	県	○	3
	48	170	山神遺跡	やまかみいせき	80	烏田川	県	○	4

46 269

進捗率（カラー化作業を除く） 95.8 %

古墳時代

ファイル名	No.	市史 遺跡 番号	遺跡略名（よみがな）		県遺跡 番号	水系	保 管	進捗	頁数	カラー 化
古墳時代 1-1	1	2	田向遺跡	たむかいいせき	未登録	小櫃川	県	○	6	
	2	3	銚子塚古墳	ちょうしかこふん	22	小櫃川	市			
	3	5	松山遺跡	まつやまいせき	442	小櫃川	市	○	5	
	4	6	高砂遺跡	たかさごいせき	443	小櫃川	市			
	5	7	本郷1丁目遺跡（松山2号墳）	ほんごういちちようめいせき	未登録	小櫃川	市	○	3	△
	6	9	金鈴塚古墳	きんれいづかこふん	30	小櫃川	市			
古墳時代 1-2	7	10	丸山古墳	まるやまこふん	29	小櫃川	市			
	8	11	酒盛塚古墳	さかもりづかこふん	31	小櫃川	市			
	9	12	松面古墳（伝元新地古墳?）	まつめんこふん	33	小櫃川	市			
	10	13	塚の腰古墳	つかのこしこふん	32	小櫃川	市			
	11	14	鳥越古墳	とりごえこふん	34	小櫃川	市			
	12	16	相里古墳	そうりこふん	413	小櫃川	市	○	3	—
	13	17	鶴巻塚古墳	つるまきづかこふん	428	小櫃川	市			
古墳時代 2-1	14	18	大塚山古墳	おおつかやまこふん	408	小櫃川	市			
	15	19	清見台古墳群	きよみだいこふんぐん	427	小櫃川	市	○	9	—
	16	21	清水谷古墳	しみずやつこふん	417	小櫃川	市	○	3	—
	17	25	菅生遺跡	すごういせき	96	小櫃川	両			
	18	26	祝崎古墳群	いわいさきこふんぐん	99	小櫃川	両	○	7	△
	19	27	高千穂古墳群	たかちほこふんぐん	98	小櫃川	市	○	23	△
	20	28	順礼海道古墳	じゅんれいかいどうこふん	471	小櫃川	市			
古墳時代 2-2	21	30	山崎古墳群	やまざきこふんぐん	211	小櫃川	市			
	22	31	中台A遺跡	なかだいえーいせき	213	小櫃川	両			
	23	32	中台B遺跡	なかだいびーいせき	214	小櫃川	市			
	24	34	四留作第1古墳群	しどめさくだいいちこふんぐん	215	小櫃川	市			
	25	35	四留作第2古墳群	しどめさくだいにこふんぐん	216	小櫃川	市			
	26	38	椿古墳群	つばきこふんぐん	207	小櫃川	両			
	27	39	馬場作古墳群	ばばさくこふんぐん	218	小櫃川	市			
古墳時代 3-1	28	40	東明石谷古墳群	ひがしあかしやつこふんぐん	223	小櫃川	市			
	29	42	芝野遺跡	しばのいせき	358	小櫃川	県	○	14	
	30	43	久野遺跡	くのいせき	435	小櫃川	県	○	2	
	31	44	林遺跡	はやしいせき	308	小櫃川	両			
	32	45	根岸古墳群（根岸小妻遺跡）	ねぎしこふんぐん	338	小櫃川	県	○	23	△
	33	49	熊野台遺跡	くまのだいいいせき	318	小櫃川	市	○	14	
	34	50	熊野台古墳群	くまのだいこふんぐん	319	小櫃川	市	○		
	35	51	北谷古墳	きたやつこふん	317	小櫃川	市	○		
古墳時代 3-2	36	55	南谷遺跡	みなみやついでせき	323	小櫃川	市	○	3	
	37	56	南谷古墳群	みなみやつこふんぐん	323	小櫃川	市	○		
	38	57	西ノ根谷遺跡	にしのねやついでせき	325	小櫃川	市	○		
	39	58	西ノ根谷古墳群	にしのねやつこふんぐん	325	小櫃川	市	○	5	
	40	60	宮脇古墳群	みやわきこふんぐん	331	小櫃川	市	○		
	41	61	沢間1遺跡	さわまいちいせき	341	小櫃川	県	○	7	
	42	62	丹過遺跡	たんかいでせき	412	小櫃川	県	○	9	
古墳時代 4-1	43	63	茅野1号墳	かやのいちごうふん	未登録	小櫃川	市			
	44	64	内屋敷遺跡（1）（2）	うちやしきいせき	374	小櫃川	両	○	7	
	45	66	三箇遺跡群大稲地区	さんがいせきぐんおおいねちく	452	小櫃川	市	○	3	
	46	66	町原古墳群・17号墳	まちはらこふんぐん	363	小櫃川	市			
	47	68	真里谷古墳群・13号墳	まりやつこふんぐん	383	小櫃川	市			
	48	75	稲荷森古墳	いなりもちこふん	35	矢那川	市			
	49	77	太田山古墳	おおたやまこふん	38	矢那川	市			
古墳時代 4-2	50	79	千束台遺跡	せんそくだいいいせき	47	矢那川	市			
	51	80	高部古墳群	たかべこふんぐん	46	矢那川	市			
	52	81	塚原遺跡（横嶺遺跡）	よこみねいせき	52	矢那川	市			
	53	82	塚原古墳群	つかはらこふんぐん	53	矢那川	市			
	54	84	大山台遺跡	おおさんだいいいせき	129	矢那川	市	○	18	
	55	85	大山台古墳群	おおさんだいこふんぐん	51	矢那川	市	△	70	
	56	86	諏訪谷横穴群	すわやつよこあなぐん	49	矢那川	市	○	25	○
古墳時代 4-3	57	87	道上谷遺跡	どうじょうやついでせき	未登録	矢那川	市	○	5	
	58	88	道上谷古墳群	どうじょうやつこふんぐん	117	矢那川	市	○	8	○
	59	89	中郷谷遺跡（本郷B遺跡）	なかごうさくいせき	44	矢那川	市			
	60	90	鹿島塚A遺跡	かしまづかいせき	119	矢那川	市	○	5	
	61	91	鹿島塚B遺跡	かしまづかびーいせき	120	矢那川	市	○	8	
	62	92	鹿島塚古墳群	かしまづかこふんぐん	114	矢那川	市	○	42	○

4 -2	63	93	庚申塚古墳群	こうしんづかこふんぐん	115	矢那川	市	○	25	○
	64	94	庚申塚A遺跡	こうしんづかえーいせき	115	矢那川	市	△		
古墳時代	65	96	野焼A遺跡	のやきえーいせき	124	矢那川	市	○	9	
	66	98	野焼古墳群	のやきこふんぐん	125	矢那川	市	○	23	○
	67	99	東山遺跡・古墳群	ひがしやまこふんぐん	126	矢那川	市	○	32	○
	68	100	山伏作遺跡	やまぶさくいせき	未登録	矢那川	市	○	11	
	69	101	山伏作古墳群（1～32号墳）	やまぶさくこふんぐん	128	矢那川	市	○	52	△
	70	101	山伏作古墳群（41～72号墳）	やまぶさくこふんぐん	128	矢那川	市	○	32	△
	71	102	中台遺跡	なかだいいせき	59	矢那川	市	○	19	○
5 -1	72	103	銭賦遺跡	ぜにくぼりいせき	450	矢那川	市	○	16	
古墳時代	73	104	大畑台遺跡	おおはただいいせき	64	矢那川	市			
	74	105	小谷遺跡	こやついせき	70	矢那川	市	○	9	
	75	107	大門口古墳群	だいもんぐちこふんぐん	162	矢那川	県	○	6	
	76	110	石神古墳群	いしがみこふんぐん	113	矢那川	市			
	77	111	東谷遺跡	ひがしやついせき	460	矢那川	市			
5 -2	78	112	東谷古墳群・塚群	ひがしやつこふんぐん	105	矢那川	市			
古墳時代	79	113	金屋敷横穴墓群	かなやしきよこあなぼぐん	104	矢那川	市			
	80	114	永作遺跡	ながさくいせき	431	矢那川	市	○	11	
	81	115	永作古墳群	ながさくこふんぐん	431	矢那川	市	○		
	82	116	西ノ入遺跡	にしのいりいせき	457	矢那川	市	○	11	
	83	117	西ノ入B遺跡	にしのいりびーいせき	457	矢那川	市	○		
	84	118	西ノ入古墳群	にしのいりこふんぐん	457	矢那川	市	○		
	85	119	西本谷横穴群	にしほんやつよこあなぐん	111	矢那川	県			
6 -1	86	120	明石口遺跡	あかしぐちいせき	151	矢那川	市	○	3	
古墳時代	87	122	矢畑1号墳	やばたけいちごうふん	156	矢那川	市			
	88	123	天神前遺跡	てんじんまえいせき	163	矢那川	市	○	3	
	89	124	蓮華寺遺跡	れんげじいせき	169	矢那川	市	○	9	
	90	127	大原古墳	おおはらこふん	176	矢那川	市			
	91	128	花山遺跡	はなやまいせき	181	矢那川	市	○	24	○
	92	130	下野洞遺跡	しものぼりいせき	236	矢那川	市	○	4	
	93	133	新開遺跡	しんかいいせき	250	矢那川	県			
6 -2	94	138	二重山遺跡	ふたえやまいせき	272	矢那川	県	○	9	
古墳時代	95	151	峯古墳（瑠璃光塚古墳）	みねこふん	60	鳥田川	市			
	96	152	西谷遺跡	にしやついせき	65	鳥田川	市			
	97	153	西谷古墳群	にしやつこふんぐん	65	鳥田川	市			
	98	154	鶴ヶ岡遺跡	つるがおかいせき	2	鳥田川	市			
	99	155	鶴ヶ岡古墳群	つるがおかこふんぐん	2	鳥田川	市			
	100	156	手古塚古墳	てこづかこふん	424	鳥田川	市			
	101	157	俵ヶ谷遺跡	たわらがやついせき	3	鳥田川	市	○	16	
	102	158	俵ヶ谷古墳群	たわらがやつこふんぐん	5	鳥田川	市	○	33	○
古墳時代	103	159	マミヤク遺跡	まみやくいせき	4	鳥田川	市	○	39	
	104	160	関田塚古墳群	せきたづかこふんぐん	446	鳥田川	市	○	6	○
	105	161	浜清水遺跡	はましみずいせき	9	鳥田川	市	○	7	○
	106	162	畑沢埴輪窯跡	はたざわはにわようせき	426	鳥田川	市			
	107	163	浜ヶ谷古墳	はまがたにこふん	8	鳥田川	市	○	6	○
	108	166	中越遺跡	なかごしいせき	79	鳥田川	両	○	12	
	109	168	牛ヶ作瓦窯址	うしがさくがようし	未登録	鳥田川	市			
7 -2	110	170	山神遺跡	やまかみいせき	80	鳥田川	県	○	4	
検討中	111		九反目古墳群	きゅうたんめこふんぐん	68	鳥田川				
	112		象ヶ谷横穴群	ぞうがやつよこあなぐん	16	鳥田川				

奈良・平安時代

ファイル名	No.	市史遺跡番号	遺跡名（よみがな）		県遺跡番号	水系	保管	進捗	墨書等	頁数	カラー化
奈良平安1	1	3	田向遺跡	たむかいいせき	未登録	小櫃川	県	○	－	6	
	2	6	松山遺跡	まつやまいせき	442	小櫃川	市	○	－	6	○
	3	24	井尻遺跡	いじりいせき	89	小櫃川	市	○	●	3	○
	4	25	大寺廃寺跡	おおでらはいじあと	94	小櫃川	市	△			
	5	26	菅生遺跡	すごういせき	96	小櫃川	両				
	6	32	中台A遺跡	なかだいえーいせき	213	小櫃川	両	○	－	3	
	7	43	芝野遺跡	しばのいせき	358	小櫃川	県	○		6	
	8	44	久野遺跡	くのいせき	435	小櫃川	県	○	●	16	
奈良平安2	9	45	林遺跡	はやしいせき	308	小櫃川	両	○	●	13	
	10	47	重三台遺跡	じゅうさんだいいいせき	337	小櫃川	県	○	－	4	
	11	48	山王台遺跡	さんのうだいいいせき	436	小櫃川	市	○	－	5	○
	12	60	宮脇遺跡	みやわきいせき	415	小櫃川	市	○	－	5	△
	13	62	沢間1遺跡	さわまいちいせき	341	小櫃川	県	○	－	8	
	14	63	丹過遺跡	たんかいせき	412	小櫃川	県	○	●	10	
	15	66	内屋敷遺跡	うちやしきいせき	374	小櫃川	市	○	●	4	○
	16	70	末崎遺跡	まつぎきいせき	366	小櫃川	市	○	●	16	○
奈良平安3	17	73	藪台1遺跡	やぶだいいちいせき	394	小櫃川	市	○	●	4	○
	18	74	代畑遺跡	だいばたけいせき	371	小櫃川	市	○	－	4	
	19	84	大山台遺跡	おおさんだいいいせき	129	矢那川	市	○	－	7	
	20	87	道上谷遺跡	どうじょうやついせき	未登録	矢那川	市	○	－	2	
	21	89	中郷谷遺跡（本郷B遺跡）	なかごうやついせき	44	矢那川	市	○	－	6	
	22	90	鹿島塚B遺跡	かしまづかえーいせき	119	矢那川	市	○	－	4	
	23	96	野焼A遺跡	のやきえーいせき	124	矢那川	市	○	－	2	
	24	99	東山遺跡	ひがしやまいせき	127	矢那川	市	○	－	9	
奈良平安4	25	100	山伏作遺跡	やまぶしきいせき	未登録	矢那川	市	○	－	4	
	26	102	中台遺跡	なかだいいいせき	59	矢那川	市	○	●	10	○
	27	103	銭賦遺跡	ぜにくぼりいせき	450	矢那川	市	○	－	6	○
	28	104	大畑台遺跡	おおはただいいいせき	64	矢那川	市	○	●	36	○
	29	105	小谷遺跡	こやついせき	70	矢那川	両	○	●	31	
	30	106	金二矢台遺跡	かなふたやだいいいせき	455	矢那川	県	○	●	4	
	31	108	大門口遺跡	だいもんぐちいせき	161	矢那川	県	○	●	5	
	32	109	石神横穴墓群	いしがみよこあなぼぐん	112	矢那川	市	○	－	10	○
奈良平安5	33	114	永作遺跡	ながさくいせき	431	矢那川	市	○	－	3	－
	34	120	明石口遺跡	あかしぐちいせき	151	矢那川	市	○	●	4	○
	35	123	天神前遺跡	てんじんまえいせき	163	矢那川	市	○	－	5	○
	36	128	花山遺跡	はなやまいせき	181	矢那川	市	○	－	10	○
	37	129	野洞遺跡	のぼりいせき	233	矢那川	市	○	－	4	○
	38	130	下野洞遺跡	しもぼりいせき	236	矢那川	市	○	－	5	○
	39	131	巡礼街道遺跡	じゅんれいかいどういせき	237	矢那川	市	○	－	3	○
	40	132	玉ノ谷遺跡	たまのやついせき	未登録	矢那川	市	○	－	4	○
奈良平安5	41	133	新開遺跡	しんかいいせき	250	矢那川	県	○		5	
	42	136	上名主ヶ谷竈跡	かみなぬしがやつようせき	266	矢那川	県	○	－	5	
	43	137	矢那瓦竈跡	やながようせき	264	矢那川	市	○	●	4	－
	44	138	二重山遺跡	ふたえやまいせき	272	矢那川	県	○	－	8	
	45	139	上ノ山A遺跡	かみのやまえーいせき	467	矢那川	市	○	－	7	○
	46	140	上ノ山B遺跡	かみのやまびーいせき	466	矢那川	市	○	－	3	○
	47	141	山ノ下竈跡群	やまのしたようせきぐん	286	矢那川	市	○	－	6	○
	48	145	下時田遺跡	しもときたいせき	294	矢那川	市	○	－	2	○
奈良平安5	49	147	苗見作遺跡	なえみさくいせき	303	矢那川	市		●		
	50	157	俵ヶ谷遺跡	たわらがやついせき	3	鳥田川	市	○	－	4	
	51	159	マミヤク遺跡	まみやくいせき	4	鳥田川	市	○	－	5	
	52	166	中越遺跡	なかごしいせき	79	鳥田川	両	○	－	10	
	53	167	大久保石澄横穴群	おおくぼいしすみよこあなぐん	472	鳥田川	県	○	－	8	
	54	170	山神遺跡	やまかみいせき	80	鳥田川	県	○	－	8	
	55	171	堀ノ内台遺跡	ほりのうちだいいいせきに	74	鳥田川	県	○	－	3	
	56	172	堀ノ内台遺跡（2）	ほりのうちだいいいせき	74	鳥田川	県	○	－	3	
奈良平安5	57	173	南羽鳥遺跡	みなみはどりいせき	未登録	鳥田川	県	○	－	4	

54 15 372

進捗率（カラー化作業を除く） 94.7 %

中・近世、石造物、人骨鑑定

中・近世

No.	所在地	遺跡名	よみがな	時代	進捗
1	木更津市	井尻遺跡	いじりいせき	中世・近世	△
2	木更津市	内屋敷遺跡	うちやしきいせき	近世	△
3	木更津市	鹿島塚 A 遺跡	かしまづかえーいせき	近世	△
4	木更津市	御所塚遺跡	ごしょづかいせき	近世	△
5	木更津市	笹子城跡	ささごじょうあと	中世	△
6	木更津市	三箇遺跡群	さんがいせきぐん	中世	△
7	木更津市	山王台遺跡	さんのうだいいせき	近世	△
8	木更津市	至徳堂碑（銚子塚古墳上）	しとくどうひ	近世	△
9	木更津市	四留作遺跡	しとめさくいせき	中世	△
10	木更津市	四留作第 2 古墳群	しとめさくいせきだい 2 こふんぐん	近世	△
11	木更津市	四留作第 1・第 2 号塚	しとめさくだい 1 だい 2 ごうづか	近世	△
12	木更津市	芝野遺跡	しばのいせき	中世	△
13	木更津市	下中郷塚	しもなかごうづか	近世	△
14	木更津市	下根田 A 遺跡	しもねだえーいせき	近世	△
15	木更津市	下部多山塚	しもべたやまづか	近世	△
16	木更津市	重三台遺跡	じゅうさんだいいいせき	近世	△
17	木更津市	菅生遺跡	すごういせき	中世	△
18	木更津市	関田塚	せきたづか	近世	△
19	木更津市	高砂遺跡	たかさごいせき	近世	△
20	木更津市	田藏中塚遺跡	たぐらなかつかいせき	近世	△
21	木更津市	玉ノ谷遺跡	たまのやついせき	近世	△
22	木更津市	田向遺跡	たむかいいせき	中世	△
23	木更津市	俵ヶ谷遺跡	たわらがやついせき	近世	△
24	木更津市	丹過遺跡	たんがいせき	中世	△
25	木更津市	塚の腰古墳・松面古墳	つかのこしこふん・まつめんこふん	中世	△
26	木更津市	塚原 47 号墳	つかはら 47 ごうふん	近世	△
27	木更津市	天神前遺跡	てんじんまえいせき	中世	△
28	木更津市	中郷谷遺跡	なかごうさくいせき	中世	△
29	木更津市	中台 A 遺跡	なかだいえーいせき	中世	△
30	木更津市	中台六部塚	なかだいろくぶづか	近世	△
31	木更津市	西ノ入塚群 1 号塚	にしのにいつかぐん 1 ごうづか	近世	△
32	木更津市	西谷遺跡	にしやついせき	中世・近世	△
33	木更津市	西谷塚	にしやつづか	近世	△
34	木更津市	二重山遺跡	にじゅうやまいせき	中世	△
35	木更津市	林遺跡	はやしいせき	近世	△
36	木更津市	東谷塚群・東谷十三塚	ひがしやつつかぐん	中世・近世	△
37	木更津市	町原塚群	まちばらつかぐん	近世	△
38	木更津市	丸山塚	まつやまづか	近世	△
39	木更津市	真武根陣屋跡	まぶねじんやあと	近世	△
40	木更津市	真里谷城跡	まりやつじょうせき	中世	△

41	木更津市	山伏作遺跡	やまぶしさくいせき	近世	△
42	木更津市	蓮華寺遺跡	れんげじいせき	近世	△
43	袖ヶ浦市	荒久遺跡	あらくいせき	中世	△
44	袖ヶ浦市	打越岱遺跡	うちこしだいいせき	中世	△
45	袖ヶ浦市	永地遺跡	えいちいせき	中世	△
46	袖ヶ浦市	上宮田台遺跡	かみみやただいいせき	中世	△
47	袖ヶ浦市	寒沢遺跡	かんざわいせき	中世	△
48	袖ヶ浦市	西原遺跡	さいばらいせき	中世	△
49	袖ヶ浦市	三箇遺跡	さんがいせき	中世	△
50	袖ヶ浦市	山谷遺跡	さんやいせき	中世	△
51	袖ヶ浦市	神田遺跡	しんでんいせき	中世	△
52	袖ヶ浦市	水神下遺跡	すいじんしたいせき	中世	△
53	袖ヶ浦市	中六遺跡	ちゅうろいせき	中世	△
54	袖ヶ浦市	寺ノ上遺跡	てらのうえいせき	中世	△
55	袖ヶ浦市	西久保下遺跡	にしくぼしたいせき	中世	△
56	袖ヶ浦市	西御祈祷谷古墳群	にしごきとうやつこふんぐん	中世	△
57	袖ヶ浦市	根崎遺跡	ねざきいせき	中世	△
58	袖ヶ浦市	東上泉遺跡	ひがしかみいずみいせき	中世	△
59	袖ヶ浦市	美生遺跡群	びそいせきぐん	中世	△
60	袖ヶ浦市	文脇遺跡	ふみわきいせき	中世	△
61	袖ヶ浦市	南岩井作遺跡(吉野田遺跡)	みなみいわいさくいせき	近世	△
62	袖ヶ浦市	谷ノ台遺跡	やつのだいいせき	中世	△
63	袖ヶ浦市	横田郷遺跡	よこたごういせき	中世	△
64	君津市	上新田張山遺跡	かみにったはるやまいせき	中世	△
65	富津市	植ノ台遺跡	うえのだいいせき	中世	△

石造物

木更津市	金鈴塚古墳石室他		古代～中・近世	△
------	----------	--	---------	---

人骨鑑定

木更津市	諏訪谷横穴他		古代	△
------	--------	--	----	---

木更津市史 考古部会における「デジタルアーカイブ」への対応について

木更津市史は当初は紙冊子やDVDでの（有料）頒布が予定されていたが、今回「デジタルアーカイブ」方式に変更された。様々な市民層が多く閲覧することが想定されるため、モノクロ画像での掲載はできるだけ避けたいと考え、以下により資料のカラー化作業を実施している。

1 具体的作業内容

（１）木更津市が発掘調査資料を管理している遺跡について

- ①潮見資料室にて、遺物の抽出、再撮影作業（実施中）
- ②潮見資料室にて、スライドの抽出、スキャニング作業（実施中）
- ③郷土博物館金のすずにて遺物の抽出、再撮影作業（予定）

（２）県が発掘調査資料を管理している遺跡について

- ①県文化財課に資料借用・撮影許可申請提出（考古部会長名で可）（予定）
- ②県文化財課森宮分室（大多喜町）に出張、スライドの抽出、スキャニング、遺物の再撮影（予定）

2 作業力量（これまでの実績から計算）

旧石器時代＝10～15遺跡	担当者が執筆時にカラー化作業予定
縄文時代＝40～47遺跡	担当者が執筆時にカラー化作業予定
弥生時代＝48遺跡	現在2～3人で実施中、残り延べ約300時間必要
古墳時代＝113遺跡	現在2～3人で実施中 残り延べ約560時間必要
奈良・平安時代＝56遺跡	現在2～3人で実施中 残り延べ約222時間必要
中・近世＝40～45遺跡	担当者が執筆時にカラー化作業予定

合計延べ約1082時間必要＝2人で月4日作業（48時間）実施しても23か月＝約2年必要

木更津市史編さん部会調査等進捗報告

部会名	古	代	部会長名	河	名	勉
令和4年1月から 令和4年12月までの 実施内容・進捗状況	令和4年1月9日 古代部会第47回 ・『万葉集』歌の他の市史の採用比較 ・『日本書紀』天武天皇十二年六月条「望多」について ・『木更津市史史料編古代』入稿原稿の検討 『万葉集』巻七 雑歌 海上瀉等、『陸奥話記』『大鏡』等 2月20日 古代部会第48回 ・進捗状況、未作成カードの提示 ・『木更津市史史料編古代』入稿原稿の検討 『木簡』藤原宮跡・平城宮跡等、『今昔物語集』『平治物語』等 ・将門記の掲載方法について 3月27日 古代部会第49回 ・令和4年度の古代部会の活動計画（案） ・資料解説について ・『木更津市史史料編古代』入稿原稿の検討 『更級日記』の採録範囲、『梁塵秘抄』の採用刊本等 『古語拾遺』『古事記』『日本書紀』等 4月24日 古代部会第50回 ・『木更津市史史料編古代』の検討 古代の構成（案）、史料解説の分担（案）、古代の組見本 古代の凡例（文献史料・木簡・調庸銘文） ・提出原稿の検討（提出原稿のコピー4部を文化課に依頼） この段階での採録候補は、755項目であった。 除目史料の取り扱い、県史になく『市原市史』に掲載されている史料の取り扱い。 文学・木簡・調庸銘文を編年に組みかえ。 未確認史料のリストアップ。 採録史料の採否の最終決定 採録史料の採録範囲・頭注・本文史料解説等の見直し 5月16日 第1部史料編の提出原稿を文化課に提出 古代の構成（案）、組見本、凡例等の添付 6月5日 古代部会第51回 ・文化課に提出した第1部史料編の提出原稿について説明 未採録史料などを抜き取り、この段階で741項目となる。 ・口絵について（案） ・第2部解説編の原稿検討 「望陀布の品質・生産と用途」「馬来田から望陀へ」 ・採録史料と出典文献について ・史料解説の原稿の検討					

	6月30日 第1部史料編の提出原稿の修正を報告 4項目を削減し、この段階で737項目となる。 7月17日 古代部会第52回 ・未確認史料のリストアップとその対応 ・口絵について（案） ・第2部解説編の原稿検討 「総説」「馬來田から望陀へ」等 ・古代木更津の地名について ・不明史料の再調査について 7月31日 古代部会第53回 ・第2部解説編の原稿検討 「総説」「史料解説」等 ・未確認史料のリストアップ、翻刻の許可の問題の検討 ・口絵について、掲載許可の問題の検討 8月2日 第2部解説編の提出原稿を文化課に提出
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	校正作業に向けて、準備を進めることが当面の課題である。そのためには、①『木更津市史史料編古代』の原稿作成における諸注意（第2版）を作成すること、②「校正の仕方について」を作成すること、が重要である。
令和5年1～3月及び 令和5年度の活動計画	古代史料編の活動計画案は、次のとおりである。 1年目（平成29年度） 採録史料の選択作業 2年目（平成30年度）～5年目（令和3年度）入校原稿の作成作業 （採録史料を原史料から作成し、内容を検討し、採録範囲と頭注の作成）。「史料」の解題作成。 6年目（令和4年度） 校正作業。 令和5年1～3月は、校正作業に向けての準備を進めることである。 令和5年度は、校正作業に取り組み刊行するとともに、通史編に向けて、目次案の作成等に取り組む予定である。

木更津市史編さん部会調査等進捗報告

部 会 名	中世史部会	部会長名	滝川 恒昭
-------	-------	------	-------

令和4年1月から 令和4年12月までの 実施内容・進捗状況	中世部会が扱う範囲は、鎌倉期から戦国末期（移行期を含む）である。部会ではそれぞれの時代区分と、木更津の中世を特徴付ける「上総武田氏」「上総里見氏」「中世海運・湊」「上総鋳物師」といったテーマについて担当者を決め、あとはそれぞれが役割分担として史料の蒐集にあたる方式でこれまで作業を進めている。 ただ昨年に続き、新型コロナウイルス感染の拡大増加による移動制限や各種公共機関の使用制限が続き、主たる調査対象の、個人宅・公・私・大学図書館・博物館・文書館等は、すべて閉館・制限開館という状況となり、事実上通常の調査は困難となっている。 そのため現在では昨年同様、対象に該当する史料を発見・確認するため、東京大学史料編纂所・国立公文書館内閣文庫・国立国会図書館・国文学資料館・国立歴史民俗博物館・京都大学博物館をはじめとする各種史料保存機関・大学図書館等が公開している膨大なデジタル資料を検索する作業が中心とならざるをえず、現在はそのデーターをそれぞれで蓄積・整理しているところである。
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	デジタル資料は、著作権等の関係ですべてが公開されているわけではなく、機関によってはごく一部にとどまっているところも多い（たとえば東京大学史料編纂所・国会図書館等）。 ただこのような状況が続いていく限りにおいて、現状では一番有効かつ現実的な調査方法であり、当面はこの方法が主力とならざるを得ない。コロナ感染が落ち着いた時点で、これらの機関の直接閲覧でした許可されない史料の調査を実施したい。
令和5年1～3月及び 令和5年度の活動計画	昨年度、活動計画であげた対象は、コロナ感染だけでなく、調査費の関係で実施できなかったところがほとんどである。本年度もその状況は大きく変わらないようであるが、継続してデジタル資料の検索と、そこでは未公開とされている資料の調査が優先となる。 地域の史料としては、前回の市史の刊行から年数が経っている富津・木更津市内の寺社・個人宅における古文書・金石文調査の実施が最優先される。 特に富津市内は、本格的調査が未実施のところが多く、今後集中的に調査を実施することによって、上総武田氏・上総里見氏・中世海運といったテーマに関する新史料の発見が大いに期待される。 また費用面と感染状況で可能となったら、里見氏や武田氏と関係の深かった越後上杉氏の史料調査のため、新潟県内の史料保存機関の調査を実施したい。

木更津市史編さん部会調査等進捗報告

部 会 名	近世部会	部会長名	小関 悠一郎
令和４年 １月から 令和４年 12月までの 実施内容・進捗状況	令和４年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、史料収蔵機関での調査を中心に、史料調査や既調査史料の整理や翻刻を実施し、一定の進捗をみた。 また、部会打合せを実施し、資料編の章立てや執筆分担について、昨年度に引き続き検討を行った。打合せは、オンラインで実施した。 また、本年は掲載候補史料の検討会をオンラインにて月１回のペースで実施した。 令和４年の近世部会における具体的な活動は以下の通りである。 ・ 部会打合せ（オンライン）の実施（11/7） ・ 木更津市立博物館史料調査（伊藤亀之助家〈木更津、紺屋〉、堀口家〈長須賀〉、青柳家〈久津間〉、鶴岡家〈桜井〉、田村玄仙資料〈畑沢、医療〉） ・ 袖ヶ浦市立博物館史料調査（十日市場・佐久間家文書、袖ヶ浦市神納・多田兵庫家文書） ・ 千葉県文書館収蔵史料の調査（継続） ・ 慶應義塾大学史料調査（高柳村文書） ・ 神奈川県内所在史料調査（宗教関係） ・ 史料翻刻の実施（小浜・大澤家文書、下郡・鈴木博雄家文書ほか諸家文書） ・ 掲載候補史料の検討会（10回）		
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	冊子体の市史の作成について、ゼロベースで検討し直してほしい。このことに関して、実際の編集を担う部会の意見が一切反映されない形で刊行形態が決まるのは、部会員のモチベーションにもよくない影響を及ぼしている。昨年度課題として挙げた、資料編近世１・２の刊行予定年度についても部会への明確な回答や相談がなされておらず、編さんの主体である市と部会との連絡体制について再考してほしい。 個人宅での史料調査が十分進捗するか懸念される。 史料翻刻作業（人員）の確保が懸案となっている。		
令和５年１～３月及び 令和５年度の活動計画	・ 部会打合せの実施（２回程度、オンライン予定） ・ 千葉県文書館、木更津市郷土博物館金のすず、袖ヶ浦市郷土博物館収蔵史料、金田公民館旧置史料の調査 ・ 市内外旧家等の訪問調査（重田家／八剱八幡／小浜斎藤家／上根岸区有／富津市織本家） ・ 資料編掲載候補史料、および今後の調査史料の選定（継続） ・ 部会委員による市史関係史料の検討月例会の実施		

木更津市史編さん部会調査等進捗報告

部 会 名	近現代部会	部会長名	池田 順
-------	-------	------	------

令和４年 １月から 令和４年 12月までの 実施内容・進捗状況	(1) 機関・団体等調査 ①千葉県文書館 各種新聞の木更津市域に関する記事の選定・撮影等を行った（8割程度終了）。 ②木更津市役所 所蔵文書中から重要史料を選定し、その目録作成・撮影を行った（7割程度終了）。 ③木更津第一小学校（追加借用分） 学校日誌等所蔵文書の目録作成・撮影を行った（終了）。 ④西清小学校 学校沿革誌等所蔵文書の目録作成・撮影を行った（終了）。 ⑤南清小学校 学校沿革誌等所蔵文書の撮影を行った（終了）。 (2) 家文書調査 ①鈴木博雄家文書 史料の袋詰め・目録作成・撮影を行った（終了）。 ②菱田忠義家文書（金のすず所蔵） 史料の袋詰め・目録作成・撮影を行った（6割程度終了）。 ③斉田薬局文書 史料の目録作成・撮影を行った（終了）。 ④泉水薬局文書（金のすず所蔵） 史料の撮影を行った（終了）。 ⑤重城良造家文書（重城保関係）（金のすず所蔵） 史料の撮影を行った（終了）。 ⑥旧請西藩主林家文書（金のすず所蔵） 史料の撮影を行った（終了）。 (3) 建物調査 桜井巖島神社、ヤマニ綱島商店土蔵、安室薬局などの調査を行った。 (4) 史料選定と筆耕 収集文書の中から史料編第1巻掲載候補史料の選定を行った（3割程度終了）。 掲載候補史料の筆耕を行った（1割程度終了）
---------------------------------------	--

これまでの取組に係る 課 題 点 ・ 懸 案 事 項	事務局に、市史の編さんをどのような工程で進めるのか、それがいか に労力のかかる作業であるか、といった点についての理解が不十分で ある。 部会から事務局に依頼した事柄が、遅延したり、放置されてしまう場 合があり、編さん作業のサポートに責任をもって専念できる職員を少 なくとも一人は置いてほしい。 史料編第 1 巻の刊行期限が迫っているのに、11 月以降、活動回数が 制限されてしまったため、編さん作業がかなり遅れてしまった。活動 回数を十分確保してもらわなければ、とても予定どおりの刊行は不可 能である。
令和 5 年 1 ～ 3 月及び 令和 5 年度の活動計画	①千葉県文書館で、新聞の木更津市域に関する記事の選定・撮影等を行 う。 ②木更津市役所文書の目録作成・撮影を行う。 ③菱田忠義家文書の袋詰め・目録作成・撮影を行う。 ④建造物の継続的な調査を行う。 ⑤これまでほとんど収集できていない宗教関係史料の収集を行う。 ⑥史料編第 1 巻掲載候補史料の選定を行う。 ⑦掲載候補史料の筆耕を行う。

木更津市史編さん部会調査等進捗報告

部 会 名	自然部会	部会長名	山田 真
-------	------	------	------

令和4年 1月から 令和4年 12月までの 実施内容・進捗状況	環境分野 ・資料編 執筆完了（100%） ・本文編 - 木更津市内および付近を流れる小櫃川の近世以降の流路変遷について→市史研究に投稿済み（100%） - 小櫃川河口貯水池計画とモデル河口湖調査について→市史研究に投稿予定で執筆中（50%） 気象分野 ・12月中旬より、木更津市内の定点観測・観察 ・標高による気温のちがいおよび周辺の環境変化 - 少年自然の家(標高 150m)・ほたるの池(60m)・いっせんぼく(40m) - 後二者は湧水温も測定 ・気温の垂直分布測定 地藏堂～丹原～音信山林道入口 ・自然部会での各委員からの季節変化に関する聞き取り 地学分野 ・資料編 ほぼ執筆完了であるが、地学分野・査読会の意見にしたがい、説明文の追加、テフラの写真と柱状図整理法の変更の作業を行った。その結果、ページ数、図表の番号、目次などに変更が生じた。 ・一部未確認地域の現地調査、上泉層の未確認テフラを見出した。 ・総論原稿（第1章地形、第2章地質）の作成・査読 植物分野 ・千葉県立中央博物館から供与される資料は受領済み。 - 但し中央博物館独自の資料提供の可能性あり作成中とのこと。 ・中央博物館供与資料にリンクした写真集査読は終了、訂正作業中 97%進行 3月中旬完了見込み。 ・巨樹・巨木 2023/01/17 で現地調査終了。原稿案完成、査読も完了。 - 原稿案の承認を所有者に得る為の作業中、約 50%完了。 動物分野 ・現地補完調査終了。今後はトピック的な記録の追加にとどめる。 ・本文執筆完了。一次査読、修正完了 ・データベース、リスト類、図表類、写真集の修正完了 ・資料編目次を作成、頁数を集約し、予算請求書類を事務局へ提出 ・自然資料編の原稿「木更津市の爬虫類、両生類、バッタ目、カメムシ目、イシノミ・カマキリ・ハサミムシ目などを執筆、 ・自然編資料編 4 章、5 章の担当分（鳥類、魚類）原稿執筆 ・市史研究第 6 号原稿「木更津市の淡水魚」執筆完了。原稿提出済み
---------------------------------------	---

これまでの取組に係る 課 題 点 ・ 懸 案 事 項	気象分野 ・ 木更津市のほぼ最高地点における気象の測定記録がない。 ・ 自記温湿度計は家庭用の機器(誤差±2℃)なので、できれば気象庁検 定機器を使用したい。 地学分野 ・ 下総層群上部（木下層・姉崎層・常総粘土）は、市街地化が進んだ 地域に分布するため、かなり困難であるが、調査を続けてみたい。 植物分野 ・ 巨木の資料(目録・記事とも)におけるの個人名の扱いについて 個人所有は所有者氏名を記入しない(市指定天然記念物を除く) 神社・寺院・公共施設は記入する。 協力員の氏名は氏までとし名は記入しない。 動物分野 ・ 自然資料編（13.00 頁以上）の部会内査読方法 ・ 資料編の現状は紙印刷前提でページ構成しているが、デジタルアー カイブ化となれば再構成・編集が必要となる。方針を早く決定し、 必要なレクチャーを望む。総論執筆との並行作業は負担が大きく、 資料編の再編集作業は専門家か業者に委託できないか。 ・ 他の部会との情報交換の機会が少ない。 ・ データを地図上にマッピングするアプリが見つからない。
令和 5 年 1 ～ 3 月 及 び 令和 5 年度の活動計画	環境分野 ・ 本文編の執筆を進める。 ・ 小櫃川河口貯水池計画とモデル河口湖調査については、市史研究へ の投稿を念頭に準備を進める。 気象分野 ・ 今後 2 シーズンは同一の観測・観察を続け、毎月 1 回、定点観測・ 観察の報告をし、部会員への聞き取りを続けていく。 地学分野 ・ 自然資料編を完成させる。（図表の番号など訂正作業中） ・ 総論第 3 章に予定している地史の下書き を作成する。 ・ 未確認の下総層群テフラの発見・記載すること。 植物分野 ・ 資料編原稿作成作業 3 月末完了予定。 ・ アーカイブと総論対応として、特徴的な野草の他に街路樹・公園樹・ 果樹・農地・山林・庭園樹の写真撮影と調査を行う。 動物分野 ・ 資料編補遺野生動物アンケート調査の原稿執筆 ・ 自然資料編原稿の査読 ・ 市史研究第 7 号「木更津市の鳥類」原稿執筆予定（11/末） ・ 総論原稿執筆（継続）「魚類」 ・ データの地図上へのマッピング作業